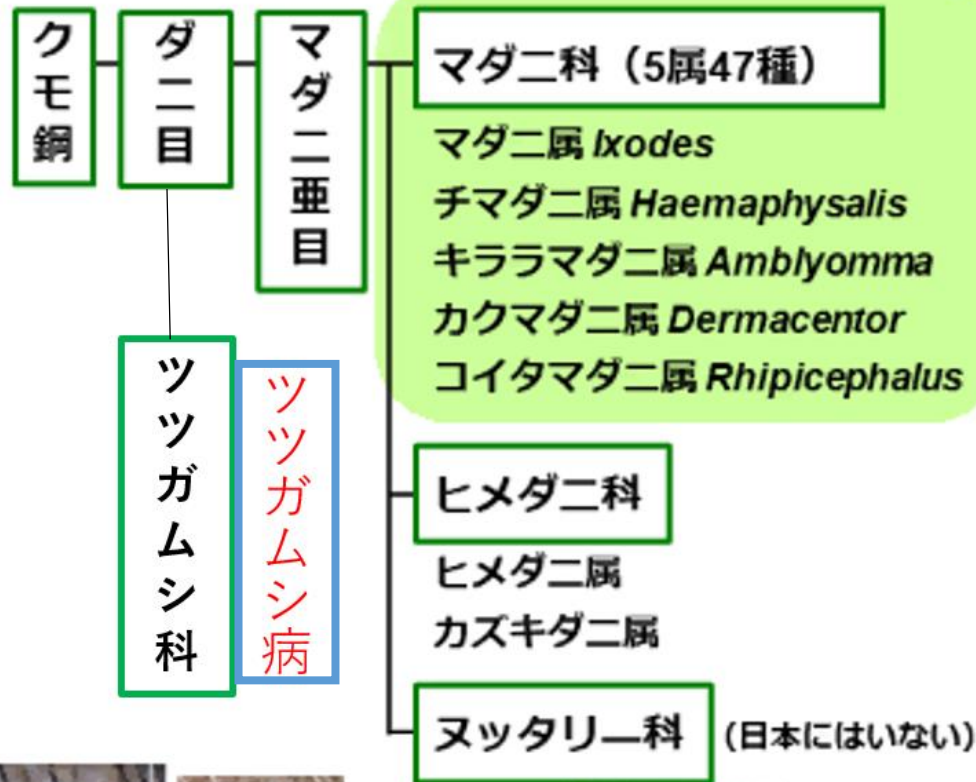


参考資料 1) マダニの分類とマダニ媒介感染症



マダニは、世界中に800以上の種が知られています。そのうち日本には47種が生息しています。



マダニが媒介する感染症

()内は病原体の種類

日本紅斑熱 (リケッチア)

Q熱 (リケッチア)

ライム病 (スピロヘータ)

ボレリア症 (細菌)

野兔病 (細菌)

重症熱性血小板減少症候群 SFTS

(フレボウイルス)

ダニ媒介性脳炎 (フラビウイルス)

キャサヌル森林病 (フラビウイルス)

クリミア・コンゴ出血熱

(ナイロウイルス)

.....など

<マダニ>

吸血前：3~8mm

吸血後：10~20mm

出典：厚生労働省HP



<ツツガムシ>

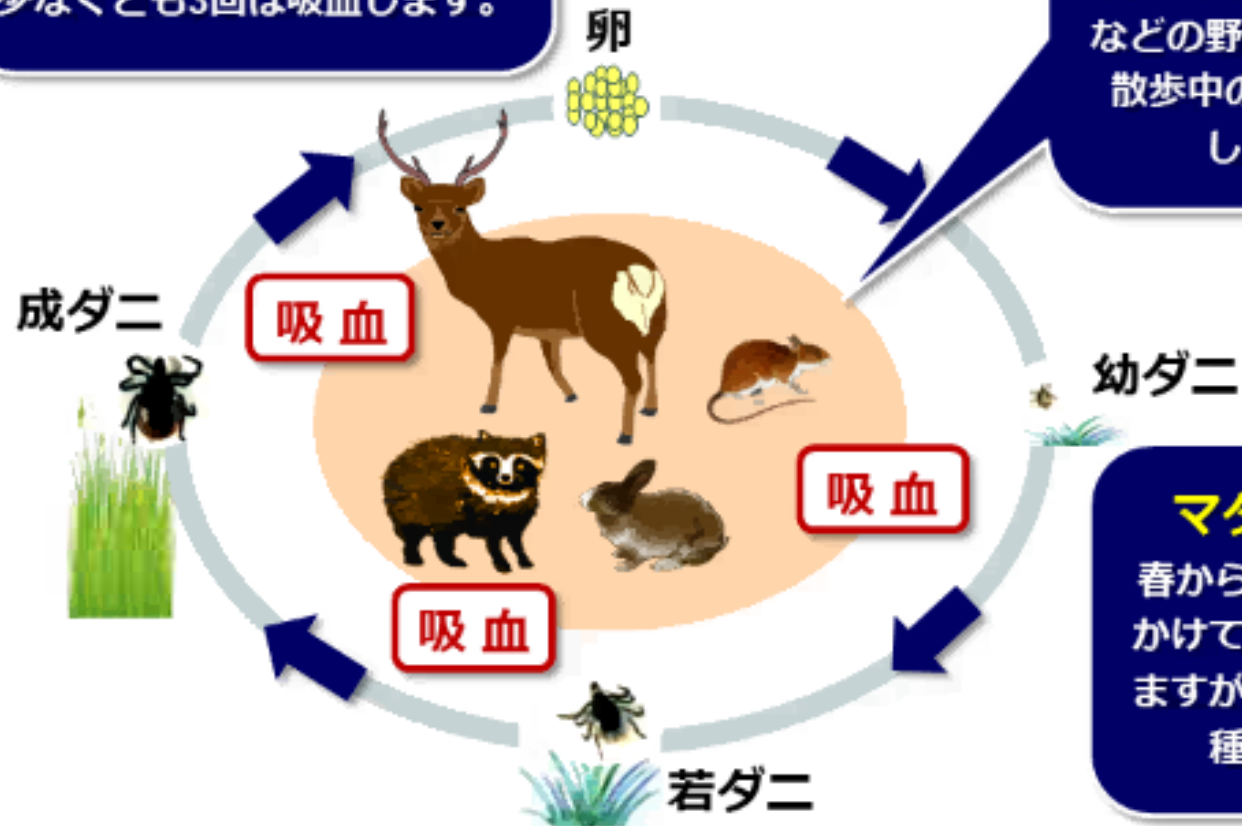
吸血前：0.5~0.8mm

出典：島根県感染症情報



参考資料 3) マダニの生活環

マダニは、
幼ダニ、若ダニ、成ダニの
各ステージで1回以上、生涯で
少なくとも3回は吸血します。



マダニは、
ヒト以外に、野ネズミ、
野ウサギ、シカ、イノシシ
などの野生動物や、ネコ、
散歩中のイヌなども吸血
しています。

マダニの多くは、
春から秋（3～11月）に
かけて活動が活発になり
ますが、冬季も活動する
種類もいます。

2. マダニから身を守る服装

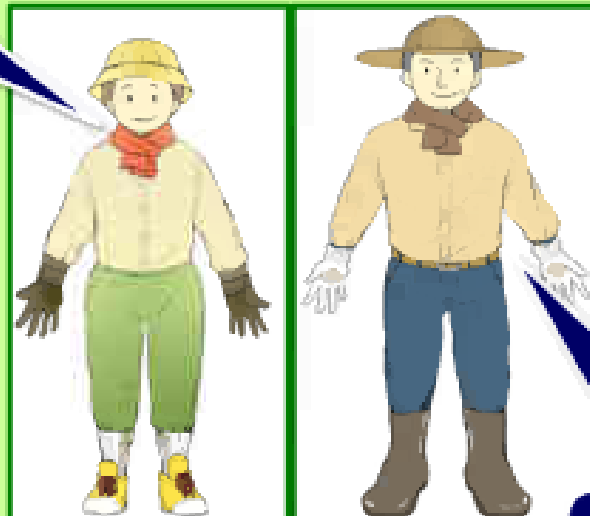
野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう！

首にはタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着用しましょう。

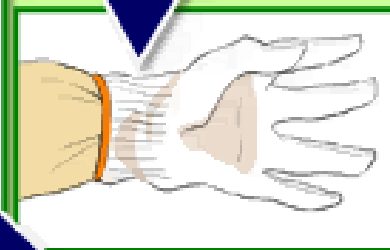


半ズボンやサンダル履きは不適當です！

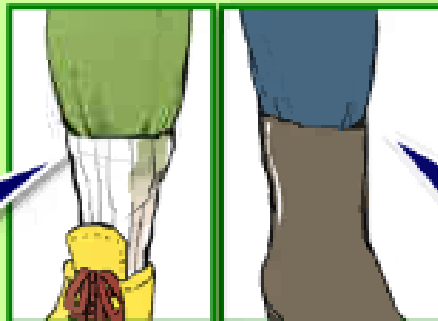
ハイキングなどで山林に入る場合は、ズボンの裾に靴下を被せましょう。



シャツの袖口は軍手や手袋の中に入れてみましょう。



シャツの裾はズボンの中に入れてみましょう。



農作業や草刈などではズボンの裾は長靴の中に入れてみましょう。

行政検査の流れ

9:00

山に行ってダニに噛まれているし、PLTも下がっている。その他にも怪しい症状あるな…治療前に全血を取っておこう



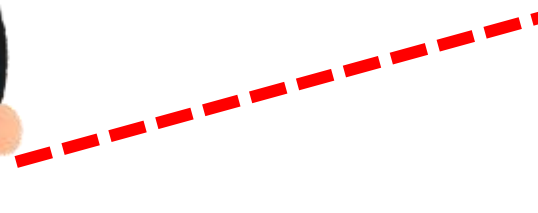
9:10

SFTSと日本紅斑熱を疑う患者がいるので、検査をお願いします。

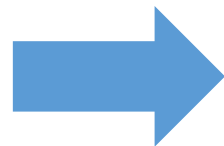


患者のプロフィール、症状経過、ダニとの接触状況、治療、血液データ etc…を聞き取り

保健所



所内で相談 9:20



9:30 環境保健センターへ依頼



わかりました。SFTSと日本紅斑熱の検査ですね。

SFTSと日本紅斑熱の検査を受けます。EDTA入り全血を1本お願いします。

検体の保存方法について

- ・ **EDTA入り全血**：冷蔵保管
※なるべく抗生剤投与前のもの
- ・ **痲疲**：冷蔵保管、冷凍保管（どちらでも可）
- ・ **皮膚**：冷蔵保管
- ・ **ペア血清**：冷凍保管

※検体採取後の行政検査日については個別検討



主治医へ、検査を受ける旨を伝える 9:40



では、10:30に検体を取りに来てください。

10:00



10:30



検体を受け取る
(梱包)



岡山県環境保健センター 11:30~12:00
通称：環保（かんぼ） 岡山市南区内尾739-1



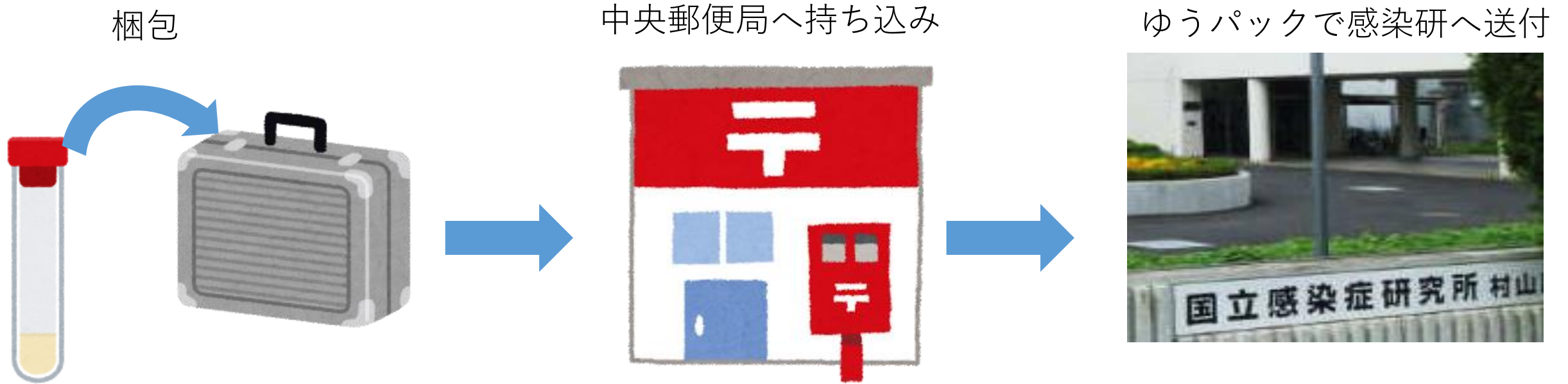
検体の搬入

確定診断の為の病原体検出を、保健所から環境保健センターへ依頼して検査する疾患

4類：SFTS、日本紅斑熱、つつがむし病、デング熱、ジカ熱、
チクングニア熱、狂犬病、サル痘など

5類：麻疹・風疹（PCR）など

感染研へ行政検査を依頼する場合



感染研へ行政検査の依頼（一例）

- 4類：レプトスピラ症、ブルセラ症、ライム病など
- 5類：CREやVREのPFGE解析、AFP など

ダニ媒介感染症に注意しましょう

現在、岡山県内では、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）、日本紅斑熱、つつが虫病などのダニ媒介感染症が発生しています。

これからの季節、アウトドアや野山に入る機会が増えるため、ダニ媒介感染症に注意をお願いします。

県では、ダニ媒介感染症に関するチラシを作成し、ホームページに掲載しています。詳しい予防方法は、別添のチラシをご覧ください。

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）とは

多くは、SFTSウイルスを保有するマダニに刺されることで感染します。まれに、SFTSウイルスに感染し、発症しているペット等の体液に直接触れた場合、感染することがあります。潜伏期間は6～14日で、症状は主に、発熱、消化器症状（嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、下血）などです。重症の場合は、死に至ることがあります。

日本紅斑熱とは

日本紅斑熱リケッチアを保有するマダニに刺されることで感染します。潜伏期間は2～8日で、症状は主に、頭痛、発熱、倦怠感、発疹などです。重症の場合は、死に至ることがあります。

つつが虫病とは

つつが虫病リケッチアを保有するツツガムシ（ダニの一種）に刺されることで感染します。潜伏期間は5～14日で、症状は主に、全身倦怠感、食欲不振、頭痛、悪寒、発熱、発疹などです。重症化すると、肺炎や脳炎症状を起こすことがあります。

詳しくは、岡山県ホームページをご覧ください。

岡山県感染症情報センター「ダニが媒介する感染症に注意しましょう」

<http://www.pref.okayama.jp/page/308929.html>

(参考) 岡山県内のダニ媒介感染症の発生状況 (件)

年	令和4年(1/1～7/3)	令和3年(1/1～12/31)	令和2年(1/1～12/31)
SFTS	3	6	7
日本紅斑熱	2	9	11
つつが虫病	1	4	3

出典：岡山県 お知らせ

「ダニ媒介感染症に注意しましょう」

https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/862865_8196600_misc.pdf

ダニに注意!



ヤマアラシチマダニ (成虫)
岡山県環境保健センター提供

～ 野山に入る方へ ～

野山に生息するダニ(マダニやツツガムシ)に刺されると、**日本紅斑熱、つつが虫病、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)**などの重篤な感染症になることがあります。キャンプ、ハイキング、農作業などの際には、刺されないための予防対策が必要です。

ダニに刺されないために

- 野山では、肌が露出しないように、袖口を絞れる長袖、長ズボン、手袋、足を完全に覆う長靴等を着用しましょう。また、色の薄い服は付着したマダニを見つけやすくなります。
- 服の上や肌の露出部分に、防虫スプレーを噴霧しましょう。
- 草むらに直に寝転んだり、腰を下ろしたり、服を置いたりするのはやめましょう。

野山で活動したあとは

- すぐに入浴し、体や頭をよく洗い、新しい服に着替えましょう。
- 脱いだ衣服はすぐに洗濯しましょう。
- ベットを飼っている場合は、ダニに刺されていないか確認しましょう。

マダニに刺されたら

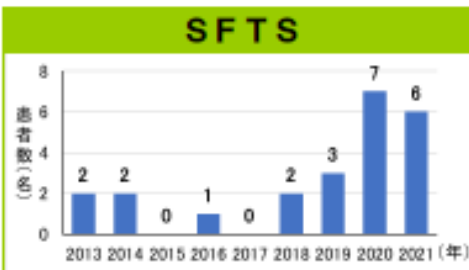
- マダニを無理に引き抜こうとすると、口器の一部が皮膚内に残ってしまうことがありますので、できるだけ医療機関(皮膚科)で取ってもらいましょう。
- 数週間程度は体調の変化に注意し、**発熱等の症状が認められた場合は、早めに医療機関(内科)を受診しましょう。**その際、野山に入ったことを伝えてください。



©岡山県「ももっちと仲間たち」

岡山県

ダニ媒介感染症の発生状況(岡山県)



月別の発生状況、全国の発生状況など、最新情報は『岡山県感染症情報センター』のホームページをご覧ください。

岡山県感染症情報センター

検索



SFTSウイルスは、ペットなどからも感染します

- SFTSウイルスは、犬や猫にも感染します。
- 体調の悪そうなノラ猫などには触れないようにしましょう。

マダニの「いろは」

マダニは、**卵→幼虫→若虫→成虫**の順に発育しますが、すべてのステージで吸血します。また、蚊に刺された時のようなかゆみや吸血にともなう痛みはほとんどありません。



令和4年7月作成

出典：岡山県 お知らせ
「ダニ媒介感染症に注意しましょう」
https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/862865_8196600_misc.pdf